

栃木県総合教育センターだより

# 学びの杜通信

第53号 令和元(2019)年7月12日発行



## 第10期とちぎの教育未来塾受講生募集スタート!

### ★第10期とちぎの教育未来塾



栃木県の若手教員の皆さん、講師の皆さん、栃木県の教員を目指す皆さん! ともに学びましょう!



昨年度(第9期)は、先生方と学生を合わせて、202名が受講されました。「とちぎの教育未来塾」で、子どもたちの未来、御自身の未来への夢を大きく膨らませてみませんか。



#### <受講生の声から>

- ◆6日間の研修は、よりよい教員を目指す方たちと共に議論することができ、実りの多いものとなりました。自分から学び、成長を実感する楽しさを味わいました。この楽しいという感覚を子どもたちにも伝えることのできる教員になりたいと思います。【現職】
- ◆自己有用感や学級経営、児童・生徒との関わり、服務など、様々な視点から講話や演習が設定されていて、大変勉強になりました。現職の先生方と、同じ受講生という立場で意見や考えを交流することで、大きな学びの場となり、教員を目指す意欲がより高まりました。【学生】

#### <研修日及び講座内容>

		9:00~10:00	10:15~11:15	11:30~12:30
第1日	10/5(土)	開講式	教師像に関する事	自己有用感に関する事
第2日	10/19(土)	学習指導に関する事	教科指導に関する事	授業づくりに関する事
第3日	11/2(土)	服務に関する事	幼児教育に関する事	道徳教育に関する事
第4日	12/7(土)	教育相談に関する事	特別支援教育に関する事	児童・生徒指導に関する事
第5日	12/21(土)	学級、ホームルーム経営に関する事		学校・家庭・地域の連携に関する事
第6日	1/18(土)	教師像に関する事	特別講話	閉講式

※特別講話の講師は、前栃木県教育委員会教育長宇田貞夫先生を予定しています。

募集期間は7月1日(月)から9月6日(金)です。申込み方法等は、以下のWebサイトから御確認いただけます。

【問合せ先】研修部 (Tel 028-665-7202)



[http://www.tochigi-edu.ed.jp/icnt/kenshu-c-h31/?page\\_id=128](http://www.tochigi-edu.ed.jp/icnt/kenshu-c-h31/?page_id=128)



※ フルブラウザのみ対応可

# 教育相談特別講座の参加者を募集しています！

## ★令和元（2019）年度教育相談特別講座

期日 令和元年 8 月 6 日（火）9:30～16:00（受付 9:00～）

### テーマ 「不登校の未然防止を考える」

○基調講演 「新たな不登校を生まないために—子どもの願いとつながる教師のかかわり—」

立命館大学大学院教職研究科 教授 春日井 敏之氏

○パネルディスカッション「新たな不登校を生まないための、子どもへのかかわり」

パネリスト：下野市立国分寺小学校 教諭 石濱 啓貴  
足利市立協和中学校 教諭 須永 ゆきの  
県立上三川高等学校 教諭 津田 理恵子  
県教委事務局学校安全課 指導主事 山田 大介  
指定討論者：立命館大学大学院教職研究科 教授 春日井 敏之

不登校の未然防止について、  
かかわりの視点から  
一緒に考えましょう！



各校・各所属で取りまとめの上、以下のWebサイトからお申し込みください。皆様の御参加をお待ちしています。

→Click! [http://www.tochigi-edu.ed.jp/center/sodan/kensyu/kensyu2019/tokubetsu\\_koza.htm](http://www.tochigi-edu.ed.jp/center/sodan/kensyu/kensyu2019/tokubetsu_koza.htm)

【問合せ先】教育相談部（Tel 028-665-7211）

## 第20回栃木県教育研究発表大会の御案内

栃木県教育研究発表大会は、「県内各教育機関における学校教育及び生涯学習に関する研究の成果を広く公開し、その理解と普及を図り、本県教育の充実・向上と生涯学習の振興に資する」という趣旨に基づき、**令和2（2020）年1月24日（金）・25日（土）**に開催いたします。

今年度は、第20回記念大会として、25日（土）10時から元TBS報道局アナウンサーで白鷗大学特任教授の下村健一先生による「実演！使えるメディアリテラシー授業～情報に踊らされない為の、4つの“おまじない”～」と題した記念講演を実施いたします。なお、各部会の内容については11月に配布する大会案内に掲載しますので、そちらを御覧ください。

皆様の御参加をお待ちしています。

### 昨年度の参加者の声

優れた実践発表をもとにして、異なる校種の方々と意見を交えることができ、とても有意義な時間でした。  
〔国語部会（中・高）〕



発表や協議を通して、幼児期の学びの深さを改めて感じました。本校の先生方に知らせ、本校で取り組めることを積極的に行っていきたいと思いました。  
〔幼小連携部会〕



【問合せ先】栃木県教育研究発表大会実行委員会事務局 研究調査部（Tel 028-665-7204）

# 作品を募集しています！



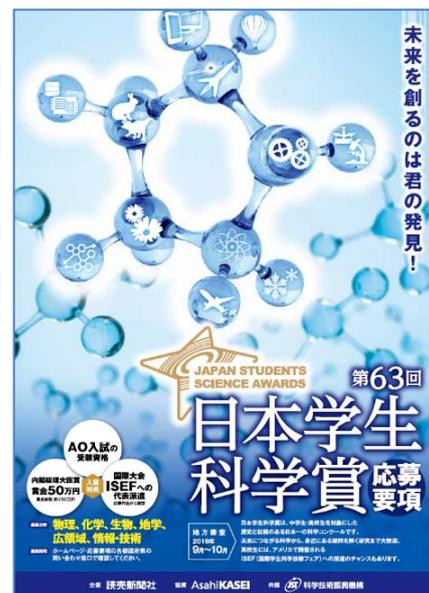
## (1) 第 63 回日本学生科学賞栃木県展覧会

日本学生科学賞は、中・高校生を対象とする科学コンクールです。国内では最も長い歴史と伝統を誇り、今回で 63 回目を迎えます。

これまでに本県から出品された作品の中には、最高賞である内閣総理大臣賞をはじめ、入賞・入選の荣誉に輝いた作品が多数あります。直近の 3 年間だけでも、2016 年に県立栃木高等学校の作品が科学技術政策担当大臣賞、市貝町立市貝中学校の 2 作品が入選 1 等・入選 2 等を、2017 年には、那珂川町立馬頭中学校の作品が科学技術政策担当大臣賞、県立佐野高等学校の作品が読売理工学院賞をそれぞれ受賞しました。

出品できる作品は、個人研究、または同じ学校の生徒による共同研究で、物理・化学・生物・地学・広領域のいずれかの領域における科学的な研究です。身の回りにある小さな疑問や、教科書に書かれている学説に対する疑問など、子どもたちの「科学する心」が伝わってくる作品をお待ちしております。

- \* 受付期間：令和元（2019）年 9 月 3 日（火）～10 日（火）
- \* 搬入先・展覧会会場：栃木県総合教育センター



栃木県展覧会への作品の出品については、以下の Web サイトで応募要項を御覧ください。

→Click! <http://www.tochigi-edu.ed.jp/center/tenrankai/r01-kagakusho/>



## (2) 第 69 回栃木県児童生徒発明工夫展覧会

本展覧会は、創作の喜びや発明工夫の楽しさを味わうことを通して、児童生徒の豊かな観察力と想像力を育成することを目的として、毎年実施しています。

「発明」と聞くと難しく感じる方が多いかもしれませんが、手作りのゲームなど、自分なりの工夫をした児童生徒の作品であれば出品できます。毎年、小学校 1 年生のかわいらしい作品から、高校生の趣向を凝らした作品まで多数出品いただいています。昨年度の金賞受賞作品の中には、日々の生活や健康管理に役立つものなど、様々な工夫を凝らした作品がありました。昨年度の金賞作品は、以下の Web サイトを御覧ください。

→Click! <http://www.tochigi-edu.ed.jp/center/tenrankai/h30-hatsumei/kinsyo.htm>

- \* 受付期間：令和元（2019）年 8 月 30 日（金）～9 月 13 日（金）  
（本年度から、個人での申し込みも可能となりました。）
- \* 搬入先・展覧会会場：栃木県子ども総合科学館



夏休みの自由研究として、子どもたちに「工夫を加えたものづくり」に挑戦させてみませんか。出品方法の詳細については、以下の Web サイトを御覧ください。

→Click! <http://www.tochigi-edu.ed.jp/center/tenrankai/r01-hatsumei/>



【(1)、(2)に関する問合せ先】 研究調査部 (TEL 028-665-7204)

# 自作視聴覚教材コンクールの御案内

## 社会教育・学校教育用教材として制作した作品を募集します！

栃木県の視聴覚教育振興のため、学習者の実態に応じたきめ細かい教材や、ふるさととちぎの歴史や文化、豊かな自然等の地域素材を題材とした教材が必要となることから、私たちの住む地域やふるさとへの感動や新たな発見、郷土愛、想いを社会教育・学校教育用教材として制作した作品を募集します。たくさんの方の御応募をお待ちしております。

前回 最優秀賞  
県立鹿沼東高等学校放送部



### 「声の心」

祖父が出会った、栃木県内で活動する咽喉がんになった人のための団体「喉友会」を通して高校生の私が気付いたこと、また、そこで声を出すために日々努力し続ける人々の思いを紹介しています。



◎ふるさととちぎの地域素材を題材にした、創造性あふれる視聴覚作品を募集します。

#### ★応募条件

- (1) メディアは、DVDもしくはブルーレイとします。  
※ブルーレイで応募の際は、DVDに録画した作品も併せて提出する。(複製・貸出用)
- (2) 作品の時間は、10分以内とします。
- (3) 応募点数に制限はありませんが、1つのメディアには1作品を収めてください。
- (4) 挿入素材やBGMは、肖像権、著作権、著作権隣接権をクリアしたものを利用ください。
- (5) すでに全国や県レベルのコンクール等で入賞した作品は除きます。
- (6) 映像作品の制作を職業としない個人及びグループ等が、社会教育・学校教育用教材として使用する目的で自ら企画制作したものを対象とします。
- (7) 応募作品は栃木県視聴覚ライブラリーで保管し、一般の利用に供することができるものとします。

★応募方法 作品とともに、本紙裏面の応募票(必要事項を記入)を添えて御提出ください。

★提出先 栃木県視聴覚ライブラリー及び各視聴覚ライブラリー

★応募締切 令和2(2020)年1月8日(水)必着

★審査部門 ○社会教育部門(団体の部、個人の部) ○学校教育部門(団体の部、個人の部)

★賞 ○最優秀賞(賞状及び賞品) ○優秀賞(賞状及び賞品) ○奨励賞(賞状)

★主催 栃木県教育委員会 栃木県視聴覚教育連盟

★後援 NHK宇都宮放送局 株式会社とちぎテレビ

募集締め切りは、令和2(2020)年1月8日(水)です。  
応募方法等は、以下のWebサイトからも御確認いただけます。

→Click! <https://www.tochigi-edu.ed.jp/rainbow-net/audiovisual>

【問合せ先】生涯学習部 (TEL 028-665-7206)



自作視聴覚教材コンクール  
QRコード

## 心があつたか〜くありませんでした

### エピソード①

その日は研修が重なっていて、駐車場がいっぱいになってしまいう日でした。何人かのセンター職員が駐車場で誘導をしていたところ、車を停めてセンターの方に歩いてきた一人の受講者の方が、「誘導ありがとうございます。お疲れ様です。」と声を掛けてくださいました。こちらこそ、温かいお言葉、ありがとうございます！



### エピソード②

センターでお弁当を頼まれた先生が、食べ終わったお弁当の入れ物を総務部前の段ボールに戻しに来られた時のことです。お弁当屋さんやスタッフがそこにいたわけではないのですが、「ごちそうさまでした。」と言って入れ物を戻されました。自然に感謝の言葉が出るって、ステキですね！

